

おかげ様で県議として1年間、勉強することが出来ました!!

さらにエネルギーに活動していきたいと思えます!!

日頃よりさち茂人の議員活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新たに県議会議員として議席を頂き、県勢の発展のため、そして静岡市のまちづくりについても日々思考を働かせながら議員活動に邁進しております。

県議として1年が経ち、わずかではありますが県の考え方が分かってきたように思えます。大局から物事を捉えること、つまり、市民からの要望を受け止めつつもそれによってどんな効果が県内で期待されるのか、一過性のもではなく将来に繋がる施策として通用するのか、など一つひとつの事業において何事にも説得力のある考え方や分析と研究を基にした計画の推進などであります。

まだまだ県議会議員として一人前ではないなあと感じております。継続は最も有効な力となります。まずは今年度残された任期を全うし、来年は真の議員として、一人前の議員となれるよう、チャレンジャーとして初選挙に臨んでいきたいと思えます。

何事にも一所懸命に頑張りますので、皆様におかれましては今後ともさち茂人にいっそうの厳しいご意見やご指導を賜りますことお

## 6月定例会

### 企画・くらし環境委員会でのさち茂人の質疑は

1. 住宅用太陽光発電の国の補助制度の終了と県の今年度の補助制度の関係について質問をしました。

また、市町にも同様に補助制度がありますが、県の書類と市の書類を別々に申請を行うことは、二度手間でも市民に負担がかかるので、制度や申請の一本化を行うことで、行政も事務の簡素化につながるのではないかとこの持論を展開しました。

静岡県内に一般世帯の戸建ての住宅戸数が90万弱あり、そのうち住宅用太陽光発電設備を導入している建物が5万6千戸あること。

平成32年度までに住宅用太陽光発電の設備容量を倍増する目標を掲げていることが明らかになりました。

2. 太陽熱利用は目標数値に達していないが、導入件数は単年度で全国1位であることや中小水力発電については大井川水系で3か所運転開始に向けて工事を行っていることが分かりました。また、農業用水以外でも中小水力発電の導入を進めるため、可能性調査を行うとのことでありました。

3. その他、温泉熱発電と住宅へのコージェネレーションの普及について質問しました。

4. 住宅施策「ふじのくに暮らし空間n倍増プロジェクト」の全貌を伺いました。

既存の住宅を活用し、中山間地の古い団地の空き家を利用してファミリー世帯に住み替えてもらう事業を新たに行います。県不動産流通活性化協議会と連携し、三島市の昭和40年に分譲された団地の空き家等、所有者の販売や賃貸の意向を確認したうえで、リフォームし、ファミリー向けの世帯へ住み替えられるような誘導を行うとのことでした。

5. その他、リバースモーゲージ制度の普及についてや住宅省エネリフォーム支援事業の県産材利用等の現状について質問しました。



### 平成26年6月県議会定例会にて 一般質問を行いました。

1 県と静岡市との連携事業について質問しました。

(1)「政策連携の強化について」では、(県知事と市長の関係を良くしたいとの思いから)「静岡市の自立は大切であるが、静岡市がダメになれば静岡県もダメになるので県都静岡の中核都市圏の形成に県と市が協力し、スピーディに事業展開すべきである」との私の主張に対し、川勝知事からは「田辺市長と一献傾けながらじっくり話し合う機会はあるが、十分な連携強化までに至らない。今後は県の強い牽引力を発揮し、両方がスピード感を持って施策の実現に努める。特に日本平と東静岡は一体的に作り上げていく」との答弁を頂きました。

(2)「日本平山頂周辺の整備」については、「山頂展望施設 夢殿(仮称)を日本の最高の展望施設にする」また、「ロープウェイの付替えや改修・修繕を踏まえ、清水側と久能山も一体的にする」と知事からの答弁がありました。

その他、大谷川放水路は三面コンクリートから水のある景観として楽しく親しむ空間を県が絵を描きたいとの話がありました。

(3)「東静岡駅周辺の土地利用」については、「二十名弱の有識者会議を立ち上げる。駅周辺のみならず、文化・スポーツを集約する(駿河区東方面の)全体構想を論じていただく。大学コンソーシアムや若い人たちが集うようなエリアとして東静岡駅周辺から日本平に至る地域の玄関口としてふさわしいものになるよう高いレベルで議論していただく。」との知事の話がありました。

ちなみに有識者会議には田辺市長も参加し、9月8日に第1回目の会議が開催されました。

2 教育行政について質問しました。

(1) 高校の施設整備では、静岡東高等学校の改築も含め、50年以上経過し老朽化した高校の校舎のあり方について質問し、教育長からは「校舎の老朽化を解消する次期整備計画を早急に策定する」との答弁を頂きました。

その他、危険ドラッグへの対応について 全国学力・学習状況調査 浜岡原発の現状と今後の動きについて 都道府県医療勤務環境改善支援センターについて 人口減少社会における県内市町の行政体制について など質問を行いました。

# 静岡県の税金について

Q 無沙汰してました。  
 A 本間にしほらへらです。  
 Q 県議会で活動を始めて一年が経ちました。ようやく慣れてきた感じですか。覚えることが多く、結構忙しくやっています。  
 A 県議会議員になって地域の方からは話しにくいとか偉そうになったって言われていないかい？  
 Q そうだね。自分自身は今まで以上に謙虚であるって心掛けてはいるけど…実際、今までの市議会議員の活動を変えずに積極的に地域に出向くようにしているんだ。ただ、活動の範囲がいゆる地元地域から駿河区全域になった。だから駿河区の各地域のことを勉強するには、体がいくつあっても足りない。運動会や敬老会も参加することは数倍に増えたからその分、地元は顔を出すことが減ってきてしまってる。  
 Q そうして、駿河区が大切とはいえ、君は県議会議員なんだから静岡県全体の発展に努める必要があるからそのための活動も大切だからね。  
 A そういうことなんだ。ここが政治に興味がある者がいたら秘書としてサポートして欲しいところか本音だね。  
 Q 確かに君も同じく小嶋さん元市長が君を育ててくれた年齢になるし、次の世代の育成もする必要はあるよね。話は変わるけど、最近の地方政治は一体どうなっているんだい？  
 A あくテレビのことかい？都議会のヤジ問題や兵庫県の政務活動費不正支出問題のことだね。  
 Q あくゆうことが明らかになると政治不信しまくりだね。さすがに君を疑うことはないけど…情けないっていうか。  
 A そうだね。公の場で個人の批判等になるヤジは人権無視といわれてもしようがない。また、公金の不正支出は問題外だね。  
 Q 静岡県はこのようなことがないかと願っています。  
 A うん。近い将来、全国一の県議会として評価され、子どもたちのなりたいたい職業に政治家が挙がって行くことが自分の夢であり使命であると思っているから、持続してがんばるよ。  
 Q よろしくお願ひします。それでこそ応援する甲斐があるというものだから、ところで、静岡県ってどうなのよ。  
 A どうなのって、言われても…とりあえず、静岡県は人口三七〇万人で全国十位、面積は七、七八一kmで全国十三位、財政は二六年度一兆一、八〇二億円で全国十三位、いつも十位ぐらいの平均的な県ってイメージだね。しかし、最近は人口増や財政では首都圏の千葉県や埼玉県が元気で差が開き寂しいところですよ。また、GDP（県内総生産）も人口シェアと同じく国内の三％、特徴としては中小企業事業者の力によるものつくの県といわれてきたんだ。  
 Q なんて平均という言葉を安心する県民性だね。ところで財政的にはどうなんだい？  
 A それじゃ、静岡県の税金のことをちょっと話さね。静岡県はさっき言ったけど、一年間の予算が一兆一、八〇二億円で、静岡市の税収は市民税や固定資産税がその主なものなんだけど、県は特徴として法人二税があげられるんだ。  
 Q なんだい、その法人二税って。  
 A うん、法人県民税と法人事業税といわれるものなんだけど、企業の業績によって税収が左右されるんだ。要するに景気が良ければ、税収が増えるということだね。その他、個人県民税が税収の大きなものだね。法人二税で一、〇八九億円で、個人県民税は一、四六四億円で、その他、県では不動産取得税があり、これが一〇五億円で、あと県たばこ税が四四億、自動車税が五五億円で、あつと、そういえば消費税が上がったよね。地方消費税は五八九億円見込んで、これらすべてをあわせて県税が、今年度は総額四、三三〇億円の税収を見込んでいる。

Q ちよつと待ってよ。確かさっき予算は一兆円を超えているって言ってたよね。  
 A 四、三三〇億円で、あ足りぬじゃない？  
 Q まあまあ、収入としては国からもらえるお金、例えば地方交付税や地方譲与税ってのがあって話したことあったんじゃないかな。  
 A そうだね、国からくるお金があった。そして、借金も予算の収入になることを思いついたよ。いったい県はどのぐらいの借金があるんだい？  
 Q 県債の発行なんだけど、確かに借金は気になるよね。今年度は県債が六七二億円で、ただ…なんだい。  
 A うん。平成十三年度からなんだけど、臨時財政対策債ってのがあった。  
 Q これも借金かい？  
 A そう、借金だね。僕らはこれを臨時債って呼ぶんだけど、要するに国がお金が出て地方交付税を満額出せないから、足りない分は将来その借金は担保するから地方で借金しなさいっていう借金なんだ。  
 Q なんだか無責任な借金だね。国が担保するならいいじゃないか？  
 A いえいえ、国の借金は我々国民の借金だから。国はこれ以上国で借金出来ないから、地方が肩代わりして九、五七八億円で、結局は借金だから…それで、この臨時債が県債残高として九、五七八億円あるんだ。それから、建設債などの通常の県債の残高が一兆七、三八八億円で、病院の借金と合わせて静岡県は合計二兆七、三〇三億円の借金があることになるね。ちなみに通常の県債は少しずつだけと借金が減ってきているけど、臨時債は美に十四年間増え続けているんだ。これが県の悩みの種第一号だね。  
 Q 借金の金額を聞くとお先真っ暗な気持ちになるよ。県はどうやって借金を返していくんだらうか。  
 A 僕が市議会時代から取り組んでいることだけど、まずは行財政改革と歳入の抑制だね。時代に合わない補助金や制度の見直しは重要だと思つよ。それから、歳入を増やす知恵を絞ることだね。  
 Q それはつまりどういことかい？  
 A 県独自のお金の入りを増やすことさ。僕は特に税収を増やすことに興味があるんだ。  
 Q それは、税金を新たに取るということかい？県民は許さないんじゃないか。  
 A 確かに、でもみんなが理解してくればせひやりたいと思う。県では現在でも独自の歳入があるんだ。  
 Q それはなんだい？  
 A ひとは「もりつくり県民税」といって県民税の超過課税として法人県民税と個人県民税で徴収している。県民一人年間四〇〇円払っているんだ。全体で九億七千万ほどの税収がある。もう一つ法定外税というものがあつて、県では核燃料税といって新しい核燃料棒を使用するときに税金をかけるんだ。これを県額割といつて年間十二億円の収入を中部電力から頂いている。でも、今は原発は動いていない。だから、税収はないんだ。それで、この税は五年間で更新しているのだから額割と出力割を併用して課税したいと考えている。出力割だと原発が動いてなくても税金が取れるのかい。  
 Q うん。出力割だと原発の発電能力によって課税されるんだ。だから動いていないでも取れるらしい。  
 A なるほど、なんか中電には申し訳ないけど…でも血税は大切に使うてほしいよね。  
 Q ほんとだね。それが一番大切なことだね。で、独自の税収は今話した超過課税とるか、法定外税とるかか二種類が主となっているんだ。これからは独自の税収については勉強していこうと思つよ。  
 Q そうだね。みんなが理解してくるならいいと思つよ。でも君は来年四月には再度挑戦の時だからまずは継続してからだね。  
 A そうです。まずは持続するためにこれから半年間頑張ります。よしっ、がんばらうね。

平成 26 年度のさち茂人の役割は、  
 静岡県議会 企画くらし環境委員会 副委員長  
 静岡県議会 家庭教育支援条例案検討委員会 委員  
 静岡県議会 人口減少対策特別委員会 委員  
 公益社団法人 静岡県病院協会 理事  
 自民党厚生問題対策連絡協議会 委員  
 自民党文教対策委員会 委員

**編集後記**  
 今年も早いもので残すところ二ヶ月ほどとなり、そろそろ忘年会の話が出てくる時期になってしまいました。  
 まだ来年の話をするのは早いかもしれませんが、来年は佐地君が県政 2 期目を掛けての試練があります、我々もまだ心の準備が出来ていませんが、それに向けて準備をしなければなあと思うこの頃です。  
 平成 26 年 11 月吉日発行  
 発行責任者 林 稔久  
 編集担当 上條、小泉、島村、田中  
 静岡市八幡 5 丁目 14-13  
 TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096



今月の佐地く  
 セノバ前にて街頭演説 (内容は危険ドラッグ・雇用創造県民会議について)